

(凡例) 赤:本文の修正 緑:図・表・写真の差し替え・修正

No.	資料	頁	行	資料該当部分	原文の該当箇所(修正前)	ご意見(修正等及びその理由等)	対応方針(案)
1	骨子案	-	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題	<全般>	課題の書き方が、表現として暗くなっているように感じるため、ポジティブなものにならないか。	<p>・「超高齢社会の本格的な到来に伴い、医療・介護・福祉需要の増加や、特に高度経済成長期に建設されたニュータウンでは高齢人口の増加による「まち」として活力が低下が課題」に修正する。<頁3 行6></p> <p>骨子の文章を削除 (3)新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外国人旅行者の急激な減少</p> <p>・「コロナ禍による新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴う入国規制により、2020年以降の訪日外国人旅行者の急激な減少は、数は激減し、観光関連産業の低迷など関西経済に大きな打撃。コロナ後のインバウンド回復・反転攻勢に向けた圏域全体での取組が課題」に修正する。<頁3 行17></p> <p>・「都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題」を追記する。<頁3 行25></p>
2	骨子案	-	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題	<全般>	日銀大阪支店の話ではもっと前向きな表現をしており、グラフの見せ方によってニュアンスも変わる。課題として首都圏と比較して相対的に地位が低くなっている状況を表現しているが、それを表現することで実現してしまっている気がする。	<p>・「大阪・関西万博のレガシーの継承・発展や国家戦略特区でのDXなど先端取組により、「未来社会」の関西での先行の実現に向けて果敢に挑戦」を追記する。<頁2 行29></p>
3	骨子案	-	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題	<全般>	官民連携は大阪が発祥であり先進的であることを、第1部でそのことに触れることができればそのあとの第2部、3部への流れがつかれる。	<p>・「地域の発展に「民」の力が大きな役割を果たしてきた関西は、新たな官民連携によって社会的課題を解決する「新しい資本主義」を実践する素地が根付いている」を追記する。<頁2 行21></p>
4	骨子案	-	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題	<全般>	<p>○全国計画の重点の付け方</p> <p>・「地方の中心都市を～」というところで都市圏レベルのシームレスというものが出てこない。</p> <p>・大きな柱として、デジタルとリアルの融合という話があるものの、DXを徹底的に推進するという言葉だけで終わっているところが寂しい。</p> <p>・コロナ禍を通じて、リアルとバーチャルのハイブリッドが社会として前提となっているため、そのようなことを書き込めないか。</p>	<p>・「三大都市圏を結ぶ日本中央回廊の西の拠点として、アジアを中心に世界からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込むゲートウェイとなるシームレスな重層構造の圏域」に修正する。<頁4 行28></p> <p>・「日本中央回廊のインパクトを圏域内はもとより、他圏域や地方経済へ波及させるためのネットワーク強化」に修正する。<頁5 行3></p> <p>・「京阪神都市圏から地方の中小都市、生活に身近な地域コミュニティに至る重層的な 圏域ごとに、デジタルとリアルのハイブリッド活用や地域間の連携・補完、民の力を最大限に活用する視点を持ちながら、関西のどこに住んでも快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指し、以下について戦略的に取り組む」に修正する。<頁5 行27></p>
5	骨子案	-	-		<全般>	骨子が箇条書きの為、シンプルな表現になっているが、必要なキーワード等は網羅されていると思われる。関西は首都圏と比べて通勤時間も短く、暮らしやすいのに若者が首都圏へ出て行くというのは、PR不足もあるのではないか。	<p>今後の参考とする。</p>
6	骨子案	2	11	第1部 関西の現状と課題 第2節 関西の特徴・強み (1)歴史が深く息づき、个性的で多様な地域からなる圏域	太古の昔から～	「太古の昔から～」という表現ではなく、「古来より～」の方が適当ではないか。	<p>・「古来より太古の昔から日本の中心であり、……」に修正する。<頁2 行11></p>
7	骨子案	2	27	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題	(3)最先端の技術力で我が国を牽引する関西	イノベーションとして、医療を取り上げているが、それだけでは寂しい。デジタル関係で何かないか。	<p>・「優れた技術力を有する特色あるものづくり企業や海外で評価が高いマンガ、アニメ、ゲーム等のコンテンツ産業が集積」に修正する。<頁2 行27></p>
8	骨子案	2	27	第1部 関西の現状と課題 第2節 関西の特徴・強み (3)最先端の技術力で我が国を牽引する関西	優れた技術力を有する中小企業をはじめとした特色あるものづくり企業や海外で評価が高いマンガ、アニメ、ゲーム等のコンテンツ産業が集積	関西(特に東大阪)の中小企業の活力がなくなっている。どのような施策を行っていくかが課題。関西は家電と云われていたが、これも衰退してきている。	<p>・「優れた技術力を有する中小企業をはじめとした特色あるものづくり企業や海外で評価が高いマンガ、アニメ、ゲーム等のコンテンツ産業が集積」に修正する。<頁2 行27></p>

(凡例) 赤:本文の修正 緑:図・表・写真の差し替え・修正

No.	資料	頁	行	資料該当部分	原文の該当箇所(修正前)	ご意見(修正等及びその理由等)	対応方針(案)
9	骨子案	2	34	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (1)本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進行	(1)本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進行	人口減少社会であっても素晴らしいものをつくれる、ゆとりのある生活が送れるという表現の仕方もある。	本編作成時の参考とする。
10	骨子案	2	35	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (1)本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進行	・関西の人口は2010年をピークに減少基調となり、2020年から2045年までの間で約360万人近く減少する見通しで、人口減少率は三大都市圏で最も高い。	「減少率が高い」とあるが、少ない、高いとそう反する言葉を使っている。 「減少率が大きい」と言った表現の方が良くないだろうか。	「関西の人口は2010年をピークに減少基調となり、2020年から2045年までの間で約360万人近く減少する見通しで、人口減少率は三大都市圏で最も大きい高い。」に修正する。<頁2 行35>
11	骨子案	3	10	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (2)関西の相対的地位の低下	-	外国人は現金を使わない。電子マネーでの受け入れ体制が早急に必要だと思う。	本編作成時の参考とする。
12	骨子案	3	11	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (2)関西の相対的地位の低下	・関西は我が国第二の経済圏であるが、GRPの伸び率は首都圏、中部圏よりも鈍く、首都圏との経済規模の格差は拡大傾向	現状を取り巻く課題で一番酷いのは日本の低成長だと思う。日本の成長率が低いから、日本の国際的地位がどんどん下がっていく。人口減少よりも日本のGDPシェアの低下、日本の相対的地位の低下というのが一番の問題。さらに日本の中で関西が相対的に低下している。	「関西は我が国第二の経済圏であるが、GRPの伸び率は首都圏、中部圏よりも鈍く、首都圏との経済規模の格差は拡大傾向。日本経済全体の国際経済における相対的地位の低下との二重の意味で、関西の相対的地位の低下により一層の深刻さを増している」に修正する。<頁3 行11>
13	骨子案	3	17	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (2)関西の相対的地位の低下	・コロナ禍による外国人旅行者の急激な減少は、関西経済に大きな打撃。コロナ後のインバウンド回復・反転攻勢に向けた圏域全体での取組が課題	相対的地位の低下で「インバウンドの回復」とあるが、すでにオーバーツーリズムが発生している。先日、テレビで京都市内のことを取り上げていたが、市民の生活を守る必要がある。クルーズ船の受け入れ制限している国もある。交通など人の流れが増えるのは良いが、やりすぎは駄目	本編作成時の参考とする。 「反転攻勢に向けた取り組みが課題」と認識している。
14	骨子案	3	23	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (3)ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。	「ポテンシャルを活かしきれない～」という表現があるが、ポテンシャルはあるので、まだやれるというニュアンスの表現が良い。	「大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題」に修正する。<頁3 行23>
15	骨子案	3	23	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (3)ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題	「ポテンシャルを生かし切れていない京阪神大都市圏」とは何がどう生かし切れていないのか？もっと課題をちゃんと指摘できないか？こういわれると全体の元気が薄れる気がする。	本編作成時の参考とする。 骨子のため、箇条書きとなりシンプルな表現になっているが、下記のとおり記載している。 ・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題
16	骨子案	3	23	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (3)ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題	(3)ポテンシャル活かし切れていない京阪神大都市圏の中で、「女性の就職率が低い、進学率が高い」といったことが書かれていたと思うが消えてしまいました。私の専門からいうと、生かされていないと思う。また、漠然としている印象を受けるので、高齢者の就業率が低いのであればそれらも具体的に入れた方が良いと思われる。	本編作成時の参考とする。 以前ご指摘を受けた「女性の就職率が低い、進学率が高い」の内容はデータ集に反映している。 今後、高齢者の就業率に関するデータがあれば、データ集に反映していく。
17	骨子案	3	23	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (3)ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題	東京と比べて住居が安いのは若者もわかっているが、30年経済成長できておらず、20代の経済力の問題でそれでも高いという認識がある。	本編作成時の参考とする。
18	骨子案	3	23	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (3)ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題	大阪公立大学のように2つの大学が都市型の大学を核とし、大阪城東部地区では、親・産・学の融合エリアとして大きなプロジェクトが進められているが、都市の魅力に繋がる。若者が集積や、そのまま留まり働こう、生活しようと思える魅力的なものが大事。	本編作成時の参考とする。
19	骨子案	3	28	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (4)地方都市の活力低下と農山村の集落機能の低下	-	戦略は都市部より地方部が必要、都市の周りをネットワーク化することが必要である。	「地域間や地域内の拠点を連結する交通ネットワークを確保し、地域の暮らしや経済を維持・活性化させるため、道路ネットワークの強化や持続可能な地域公共交通の確立に向けた対応が課題」を追記する。<頁3 行31>

(凡例) 赤:本文の修正 緑:図・表・写真の差し替え・修正

No.	資料	頁	行	資料該当部分	原文の該当箇所(修正前)	ご意見(修正等及びその理由等)	対応方針(案)
20	骨子案	-	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題	(6)我が国国土及び関西が直面するリスクと構造的な変化	<p>「(6)我が国国土及び関西が直面するリスクと構造的な変化」は寄せ集めたものに感じる。このため、(1)～(5)にちりばめられないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口については、8,000万人ぐらいで下げ止まり、高齢化ではなく高齢社会となり、それほど悲観的なものではない。 ・社会資本の老朽化は、(1)と(2)に含められないか。 ・カーボンニュートラルについては強み、ポテンシャルがあるものとして書いても良いのではないか。 ・(6)を脱炭素の項目とするのも良いのではないか。 	<p>骨子の文章(6)我が国国土及び関西が直面するリスクと構造的な変化については削除</p> <p>+2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素技術の開発や持続可能な産業への構造転換が課題</p> <p>・「大学や研究開発拠点が集積し、医療や脱炭素などのエネルギー分野をはじめとする最先端の研究開発が進展」に修正する。 <頁2 行25></p> <p>+高度経済成長期に集中的に整備され、建設後50年を経過する社会資本が今後は加速度的に増加</p> <p>・「本格的な人口減少下で、企業の人手不足や、地域づくりを担う人材不足のほか、今後高齢化が加速的に進行するインフラの維持管理に携わる自治体の担い手不足への対応も課題」に修正します。<頁3 行3></p> <p>骨子頁3 行6へ移動</p> <p>・超高齢社会の本格的な到来に伴い、医療・介護・福祉需要の増加や、特に高度経済成長期に建設されたニュータウンでは高齢人口の増加による「まち」としての活力低下が課題</p> <p>+今後、世界人口の増加や新興国の経済発展に伴う食料、エネルギー、鉱物資源等の需要の急増</p> <p>・「また、食料の海外依存リスクの高まり等を踏まえ、食料等の安定供給と農林水産業の成長産業化が課題。」に修正します。<頁3 行35></p>
21	骨子案	4	20	第2部 関西の将来像とその目標・戦略	<全般>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化についてはどこかに入れない。 ・デジタル化は問題解決型で出てくるが、本来は将来的なリスクを予測することで利用されているため、国土全体のデジタル化というかたちで捉えた方がよい。シームレスについてもデジタル化と合わせてできるはずである。 ・シームレスについては、もっと上位に強く出した方がまとまる。 ・奈良県の中和地域でも交通空白地域があり、将来的には自動運転を導入することも考えられる。 	<p>・「京阪神都市圏から地方の中小都市、生活に身近な地域コミュニティに至る重層的な圏域ごとに、デジタルとリアルとのハイブリッドの徹底活用や地域間の連携・補完、民の力を最大限に活用する視点を持ちながら、関西のどこに住んでも快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指し、以下について戦略的に取り組む」に修正する。 <頁5 行27></p>
22	骨子案	4	20	第2部 関西の将来像とその目標・戦略	<全般>	<p>新しい資本主義、デジタル田園都市はどこに入れているか。</p>	<p>官民連携というキーワードをいろいろなところに入れている。強みでも取り上げている。デジタル田園都市も、デジタルの活用というところに入れている。後は主要プロジェクトの中で繋がるキーワードは入れる予定。</p>
23	骨子案	4	27	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 1 日本中央回廊(仮称)の西の拠点として我が国の成長を牽引する関西	(圏域の将来像)	<p>何をもちいて関西のエンジンとするのかイメージを共有できるようにできないか。</p>	<p>本編作成時の参考とする。</p> <p>(現行計画では産学官の連携により、健康・医療産業等の分野など新たな成長エンジンとなる次世代産業を目指すとしているが、最近では水素エネルギーも注目されてきているが、今後裏付けるデータ等を揃えていく必要がある。成長エンジンのイメージが共有出来る議論が出来ればと考える。)</p>
24	骨子案	5	3	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 1 日本中央回廊(仮称)の西の拠点として我が国の成長を牽引する関西	日本中央回廊のインパクトを、圏域内はもとより、他圏域や地方経済へ波及させるためのネットワーク強化	<p>「日本中央回廊のインパクトをさらに強化・拡大するための国際ネットワークの強化」という言葉もあっても良い。さらに、「その日本中央回廊のインパクトを地域内はもとより他地域、地方経済へ波及させるための国内ネットワークの強化」と言う形で、国際ネットワークと国内ネットワークを並行する書き方がよい。</p>	<p>・「日本中央回廊のインパクトを、圏域内はもとより、他圏域や地方経済へと波及させるための国内外のネットワーク強化」に修正する。<頁5 行3></p>

(凡例) 赤:本文の修正 緑:図・表・写真の差し替え・修正

No.	資料	頁	行	資料該当部分	原文の該当箇所(修正前)	ご意見(修正等及びその理由等)	対応方針(案)
25	骨子案	5	11	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに生き生きと暮らせる地域生活圏の実現を目指す関西	(圏域の将来像)	快適で豊かに生き生きと暮らせる地域生活圏の実現を目指す関西今は生き生きと暮らせないのかと感じて、少し寂しくなる。生き生きと暮らせる資源はどこよりもある。(地域生活圏というキーワードを入れる必要があるものの、目標は重層的で大都市も中核都市も地方もという意味であり、少し前に出すぎている感じがある。)	「快適で豊かに生き生きと暮らせる地域生活圏を形成するの実現を目指す関西」に修正する。<頁5 行11>
26	骨子案	5	15	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西	・デジタルの徹底活用と広域連携、官民連携の推進により、関西のどこに住んでも教育、医療、福祉、文化、スポーツ等の豊かな暮らしを実現できる「地域生活圏」を形成する圏域	スポーツを通じて健康寿命を延ばす、健康に生きていけるような施策を進めてほしい。また、地方における学校、医療を充実させることが必要。デジタルやインターネット等で地方から都心へ出なくてもできる仕事の充実、若い世代の積極的な活用や登用が必要。	本編作成時の参考とする。
27	骨子案	5	15	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西	・デジタルの徹底活用と広域連携、官民連携の推進により、関西のどこに住んでも教育、医療、福祉、文化、スポーツ等の豊かな暮らしを実現できる「地域生活圏」を形成する圏域	文化とスポーツは一体と考えている。スポーツによって環境へのアピールもできる。	本編作成時の参考とする。
28	骨子案	5	23	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西	・就学、労働、出産、子育て、趣味等、ライフサイクルの様々なシーンにおける魅力が高く暮らしやすい圏域	少子化への対策が不足している。子供に対しての不安のない社会(現在はパラマキ製作となっている。)関西に住みたいと思わせるような施策が必要。	本編作成時の参考とする。
29	骨子案	5	23	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西	・就学、労働、出産、子育て、趣味等、ライフサイクルの様々なシーンにおける魅力が高く暮らしやすい圏域	「魅力が高く暮らしやすい圏域」とあるが、「魅力があり暮らしやすい圏域」の表現の方が良くないだろうか。	「就学、労働、出産、子育て、趣味等、ライフサイクルの様々なシーンにおける魅力があり高く暮らしやすい圏域」に修正する。<頁5 行23>
30	骨子案	5	38	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに暮らせる地域生活圏の実現を目指す関西	(その実現に向けた目標・戦略)	最初の委員会の発言を踏まえると、圏域の将来像では女性を削っても問題ないかと思う。しかし本省でも、女性活躍というものはキーワードとしてあるため、P5L38のところは残しても良いのではないかと。	「女性をはじめ、誰もが活躍できる社会の実現」の当初案に戻す。<頁5 行38>
31	骨子案	5	38	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第1節 活力ある圏域づくり 2 快適で豊かに暮らせる地域生活圏の形成を目指す関西	女性をはじめ、誰もが活躍できる社会の実現	女性が働ける機会、企業内保育の充実なども必要。また、外国人においては技能実習制度により受け入れられているが、それ以上の施策が必要と思う。	本編作成時の参考とする。
32	骨子案	6	15	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第2節 安全・安心な圏域づくり 1 巨大災害リスクに対して持続可能な国土・社会を目指す関西	(その実現に向けた目標・戦略)	人口減少下の国土利用や国土の状況の見える化を通じた管理DXが入っていない。 戦略の中に入れた方が良いのではないかと。	「空き家対策と所有者不明土地対策の総合的推進や建築・都市のDXの推進等による圏域管理の高質化」を追加する。<頁5 行34> 「関西が直面する南海トラフ地震等の巨大災害リスクや気候変動に伴い頻発化・激甚化する自然災害リスク、社会資本の老朽化の加速に対応し、デジタル等新技術の活用を図りながら、圏域の安全・安心、暮らしや経済を守る防災・減災、国土強靱化を強力に進めるため、以下について戦略的に取り組む」に修正する。<頁6 行16>
33	骨子案	6	30	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第2節 安全・安心な圏域づくり 2 人と自然が共生する持続可能な関西	-	エネルギー転換は必要である。ただ、LCCは持ちこたえられないだろう。	本編作成時の参考とする。 「脱炭素の基盤となる新たな産業・技術(水素・蓄電池等)の強化や水素・燃料アンモニア等の供給体制の整備の推進」と記載
34	骨子案	6	30	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第2節 安全・安心な圏域づくり 2 人と自然が共生する持続可能な関西	-	「人と自然の共生・カーボンニュートラル・SDGsを実現する関西」もう少し収まり良くする方法はないか。最初に持続可能と入れてはどうか。	「人と自然の共生する持続可能な関西～カーボンニュートラル・SDGsを実現する関西～」に修正する。<頁6 行30>
35	骨子案	7	12	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第2節 安全・安心な圏域づくり 2 人と自然が共生する持続可能な関西	・脱炭素の基盤となる新たな産業・技術(水素・蓄電池等)の強化や水素・燃料アンモニア等の供給体制の整備の推進	日本のエネルギー戦略の中で優位な地位を占めることが可能な場所であり、次世代エネルギーに対する可能性を秘めている。	本編作成時の参考とする。

(凡例) 赤:本文の修正 緑:図・表・写真の差し替え・修正

No.	資料	頁	行	資料該当部分	原文の該当箇所(修正前)	ご意見(修正等及びその理由等)	対応方針(案)
36	骨子案	7	16	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第2節 安全・安心な圏域づくり 2 人と自然が共生する持続可能な関西	(その実現に向けた目標・戦略)	グリーンインフラという言葉を入れてはどうか。生物多様性の確保とあり、要はグリーンインフラのことである。キーワードを書き込まないと内容が薄く感じる。	「官民連携によるグリーンインフラの社会実装の推進」を追加する。<頁7 行16>
37	骨子案	7	23	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	<全般>	既に関西は個性豊かなので、いかに歴史文化を利活用出来るのかという書きぶりにできると良いのではないかと。<先進的なサステナブルツーリズムの概念も取り入りこむ>	「歴史・伝統・文化の継承・利活用や地域資源の活用による観光振興及び地域活性化の推進と新たな地域資源の発掘」に修正する。<頁8 行2> 「地域住民の生活や地域の文化、自然の保全と両立した持続可能な観光地域づくりの推進」を追加する。<頁8 行4>
38	骨子案	7	26	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	(圏域の将来像)	文化庁の移転について文化庁の移転を契機に、文化力を関西にと書いてはどうか。関西経済連合では文化と経済の好循環という表現を使っている。歴史や伝統・文化は守るだけではなく、産業振興に力を入れなければならない。	「世界に誇る歴史・文化資産をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然や水辺空間、多彩な食文化などの地域資源を活かした「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりと、文化庁とも連携した日本文化の関西からの創造・発信により、世界の人々を惹きつけてやまない圏域」に修正する。<頁7 行29>
39	骨子案	7	29	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	・世界に誇る歴史・文化資産をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然、多彩な食文化などの地域資源を活かした「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりと、文化庁の京都移転を契機とした日本文化の関西からの創造・発信により、世界の人々を惹きつけてやまない圏域	「文化庁の京都移転を契機とた・・・」は前から分かっていたこと。それをまた、ここでいうのか。	「世界に誇る歴史・文化資産をはじめ、暮らしに息づく伝統・生活文化、四季折々の自然や水辺空間、多彩な食文化などの地域資源を活かした「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりと、文化庁とも連携した日本文化の関西からの創造・発信により、世界の人々を惹きつけてやまない圏域」に修正する。<頁7 行29>
40	骨子案	7	36	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	(その実現に向けた目標・戦略)	新たな地域資源の発掘において、公園をどうしていくかということが書かれていない。 官民連携での交通の利活用、観光施設化をしていかなければならない。 パークマネジメントやエリアマネジメントを入れる必要がある。	「歴史・伝統・文化の継承・利活用や地域資源の活用による観光振興及び地域活性化の推進と新たな地域資源の発掘」に修正する。<頁8 行2>
41	骨子案	7	36	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	(その実現に向けた目標・戦略)	最後に関西ブランドの構築とあるが、ある意味なおざりになっている。結局、何をやるのかわからない。ここでDXやデジタルに結びつけたら良いのではないかと。いろいろなものを活用してブランドをあげていく土壌が関西には既にある。大阪城をバックに空飛ぶクルマ等については運輸局と相談して検討する。伝統的なものはストックになっているため、利活用するという考えを盛り込む。	「地域住民の生活や地域の文化、自然の保全と両立した持続可能な観光地域づくりの推進」 「デジタル技術等の活用による観光DXの推進」 「国際観光(インバウンド)や他圏域との交流連携を含む→広域観光の推進」 「観光立国推進に向けた、関西からのインバウンド拡大」 「関西ブランドの構築と、アジア・世界への情報発信力の強化」に修正する。<頁8 行4~8>
42	骨子案	8	8	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	・関西からの観光立国復活に向けたインバウンドの推進	観光立国復活とはコロナのことをいっているのか？これは戦略か？レジャーマーケットはほとんど戻ると想定されていた。戻らないのはビジネス出張、MICEなどで7~8割までか。そこで凹むものをどう取り組んでいくのがポイントだった。そういう中で観光立国推進に向けたインバウンドの復活が戦略だと言われると唖然とした。	「観光立国推進に向けた、関西からのインバウンド拡大」に修正する。<頁8 行8>
43	骨子案	8	8	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	・関西からの観光立国復活に向けたインバウンドの推進	インバウンドは感染症リスクを考えながら考えていったらいいのではないかと	本編作成時の参考とする。
44	骨子案	8	8	第2部 関西の将来像とその目標・戦略 第3節 個性豊かな圏域づくり 1 日本の歴史・伝統・文化が集積し、世界を魅了し続ける関西	・関西からの観光立国復活に向けたインバウンドの推進	地域資源はまだまだある。インバウンドはコロナ前4,000万人といていたが、倍ぐらい来るのではないかと。欧米豪などで、日本に興味を持ってなかった人が来だした。	本編作成時の参考とする。
45	データ集	5	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (2) 関西の相対的地位の低下	域内総生産(GRP)の伸び率と対全国シェアのグラフ	1990年を基準にしているが、基準を見直せば、近年の伸び等表現を工夫することは出来ないかと。	データ集の修正 P5 関西の相対的地位の低下 近年の伸び等のコメント追加する。

(凡例) 赤:本文の修正 緑:図・表・写真の差し替え・修正

No.	資料	頁	行	資料該当部分	原文の該当箇所(修正前)	ご意見(修正等及びその理由等)	対応方針(案)
46	データ集	20	-	第1部 関西の現状と課題 第2節 関西の特徴・強み (3) 最先端の技術力で我が国を牽引する関西	・優れた技術力を有する特色あるものづくり企業や海外で評価が高いマンガ、アニメ、ゲーム等のコンテンツ産業が集積	コンテンツ産業のデータは、東京リサーチや帝国データバンクデータに詳細データがあるかと思われるので一度確認してみたら良い。	・データ集に反映出来るよう検討する。
47	データ集	33	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (2) 関西の相対的地位の低下	・関西は我が国第二の経済圏であるが、GRPの伸び率は首都圏、中部圏よりも鈍く、首都圏との経済規模の格差は拡大傾向	現状を取り巻く課題で一番酷いのは日本の低成長だと思う。日本の成長率が低いから、日本の国際的地位がどんどん下がっていく。人口減少よりも日本のGDPシェアの低下、日本の相対的地位の低下というのが一番の問題。さらに日本の中で関西が相対的に低下している。	データ集の修正 ・P33 経済規模(GDP)の国際比較(1995年・2012年・2019年)のデータを追加する。
48	データ集	43	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (3) ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	・大阪圏は東京圏と比較して地価が安く、医療や教育環境も充実する一方で、20代～30代前半の世代の転出が多いなど人口が転出超過の状況。都市としてのポテンシャルを活かし切れていないことが課題	東京と比べて住居が安いのは若者もわかっているが、30年経済成長できておらず、20代の経済力の問題でも高いという認識がある。	データ集の修正 P43 世帯所得分布の変化のデータを追加する。
49	データ集	45	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (4) ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	3大都市圏の転入超過数の推移のグラフ	下げ止まり感を出し、明るい部分も入れ、改善されてきていることを表現してみてもは。	データ集の修正 ・P45 3大都市圏の転入超過数の推移 下げ止まり感を出し、明るい部分も入れ、改善されてきていることを追記。
50	データ集	45	-	第1部 関西の現状と課題 第3節 関西を取り巻く現状と課題 (4) ポテンシャルを活かし切れていない京阪神大都市圏	圏域間の年齢階層別転入超過数(2022年)のグラフ	転入・転出も赤(対首都圏)と青(対その他)では赤に着目しているが、青の部分との差も考えてほしい。差し引きで表現するなど、課題とは別に希望も記載出来ないか。	データ集の修正 ・P45 圏域間の年齢階層別転入超過数 10代、20代のその他からの転入の数は東京圏への転出数を上回っている等を追記。